

議会だより



こた 汽笛のエールに応える園児たち



海岸でけがをしていたアカウミガメのリブの保護がきっかけで、海岸清掃をする、原田認定こども園の園児たちに汽笛を鳴らして航行するフェリー

- 令和3年6月定例会 P2
- 臨時会 P3
- 一般質問 P4-7
- 総括質疑・一期議員研修会 P8
- 委員長報告 P9.10
- 特別委員会・請願 P11
- 採決 P12

令和3年6月定例会を6月17日から25日までの9日間開催しました。

主な議案は、令和2年度一般会計補正予算、特別会計補正予算の専決処分、令和3年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の一部改正などが提案され、令和3年度一般会計補正予算は賛成多数、その他は全会一致で可決・承認しました。

町政に対しては、7名の議員が一般質問を行い、議案には2名の議員が質疑しました。

また、議会基本条例策定特別委員会、竹島対策特別委員会の2つの特別委員会を設置しました。

おもな補正予算

★レストランうみさち改修事業 660万円

長い間休業状態であった「レストランうみさち」を営業再開に向けて改修を行う。詳細は8ページの総括質疑をご覧ください。

★津戸ログハウス改修事業 76万9,000円

強風により、敷地内の構内柱が折れ、電線が断線し10棟中7棟の電気が供給できなくなった。取り急ぎ電線をつなぎ、応急仮設にて対応したが、復旧の必要がある。また、給湯器の一部も経年劣化で取り換える。



★高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業 244万9,000円

隠岐高校に「地域みらい365」として留学を受け入れ、関係人口を増やすなどの新たな高校魅力化事業に取り組む。

★感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 636万6,000円（町内各小中学校合計）

各学校が感染症対策を実施しながら、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費を補助する。

おもな条例改正

★隠岐の島町公営バス設置及び管理条例の一部を改正する条例

公営バス利用者の利便性の向上を目的に、運行路線を変更するため所要の改正を行う。

- 都万西部線 終点を隠岐の島町役場都万支所からJ Aしまね隠岐地区本部都万支店に変更。
- 都万診療所循環線（蛸木線） 利便向上のため、現在の一畑バス停留所を経由するよう路線変更。
- 都万診療所循環線（津戸線） 津戸港先の住民の利便向上のため、路線を延長。

物品購入契約の締結

★小型ノンステップバス

5者による指名競争入札で、有限会社門脇自動車整備工場が2,178万円で落札した。

★島後清掃センター塵芥収集車

4者による指名競争入札で、有限会社太陽車輛が728万円で落札した。

★五箇地区穀類乾燥調整施設 粉穀粉碎機

4者による指名競争入札で、島根県農業協同組合隠岐地区本部が2,061万7,300円で落札した。



イメージ写真

工事請負契約等

★旧町民体育館解体工事

5者による指名競争入札で、徳畑建設株式会社が7,150万円で落札した。

★隠岐ポートプラザ衛生設備改修工事

18者による指名競争入札で、株式会社三晃空調隠岐出張所が8,679万円で落札した。



おもな補正予算

5月臨時会

★新型コロナウイルスワクチン接種事業 6,314万6,000円

重症化予防や接種による集団免疫の獲得を期するため、安心安全に接種できるよう町内医療機関の支援と協力により、集団接種を基本とし、円滑なワクチン接種を実施する。

工事請負契約等

★八田集合住宅改修工事（建築主体工事）

5者による指名競争入札で、株式会社渡辺工務店が2億4,860万円で落札した。

★八田集合住宅改修工事（機械設備工事）

18者による指名競争入札で、株式会社野村水道工業所が4,950万円で落札した。



工事中の八田集合住宅

さようならそしてありがとう 旧町民体育館

老朽化で解体することになった旧町民体育館。かつては隠岐高校体育館でもあり、校舎が移転してからは町民体育館として各種大会やイベントにも利用されていました。「築51年」…長い間のお礼の意味も込めて、新築当時を振り返りました。

1970年（昭和45年）9月28日竣工式 総工費5,580万円

鉄筋鉄骨一部2階建て 延べ1,447㎡

収容人員 1階（椅子席）1,500席

玄関左右に男女別ロッカー

更衣室、シャワー室を完備

バレー、バスケットコートが2面ずつ

一部2階は500人収容できる卓球場兼観覧席

他校の床材はブナ材を用いているが、ここは桜材を使っている。

翌29日、「こけら落とし」として日本体育大学の世界的選手を招待して鉄棒など体操競技が披露された。隠岐では初めての本格的な体操演技とのことで同会場を埋めた生徒、一般島民たちはうっとり鑑賞し、選手の美しい迫力のある演技に力強い拍手も送られた。

1970年（昭和45年度）
隠岐高校 生徒数754人
山崎亮平校長



竣工当時の体育館



招待選手の演技

写真は「隠岐高校 100年史」より

町政に問う！

町長

…町長

教長

…教育長

担当
課長

…担当課長

問

…議員質問

一般質問



新たにオープンした隠岐自然館

紙面上、質問と答弁は要約した内容となっております。
全文記録は議会事務局にあり、ホームページにも掲載しています。
またYou Tubeにて動画も公開しており、スマホや
タブレットから右のQRコードを読み取ると簡単に
アクセスできます。



あべ だいすけ 議員
安部 大助

Q 英語教育の推進を。

A 英語教育は重要であり向上を目指す。

問 文部科学省は、学校の教育課程の基準となる「学習指導要領」を改訂し、今年度から全面实施となった。

特に、急速なグローバル化に伴い、英語力の向上は不可欠であり、英語教育の方針では単語や文法を覚えるのみでなくコミュニケーション能力を伸ばすことが求められている。

本町においては、コミュニケーション能力の向上のため、A L T

の方が現在2名いるが、11校4クラスを1週間を廻るといいうハードな状態となっている。

また、英語力の基準とされる「英語検定」においても人員不足、会場運営の負担など英語教育の推進に向け多くの課題があるように感じる。

将来を担う子ども達のためには、今一度、英語教育の強化を図っていく必要があると考えるが、教育長に3点伺う。

① 英語教育の現状をどのように認識し、推進に向けてどう取り組むのか。

② 町内で英語が堪能な方々に参画して頂き、地域と学校協働の英語教育態勢が必要と考えるが。

③ 英語検定試験を町が積極に行うべきと考えるが。

① 英語力向上は大変重要なものである、適切な人材配置、指導力の向上に取り組んでいく。

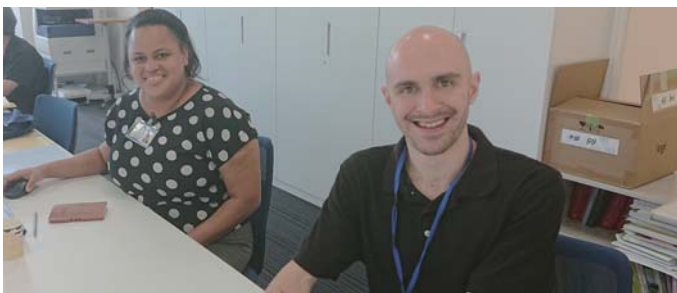
② 子ども達に少しでもコミュニケーションの機会を創出するため提案内容も含め、今一度調査し学校教育や社会教育で、どう実現できるのか検討する。

③ 島だから「検定」が受けられない状況は避けたい。

そういった支援ができるか、しっかり考えていく。

教長

① 英語力向上は大変重要なもの



ALTのアリエルさん(左)とダンケンさん(右)



まきの まきこ 議員
牧野 牧子

Q 「地方創生SDGs」への認識と取り組みは。

A 行政課題とSDGsとの関連付けを意識しながら取り組みたい。

問 近年話題になっているSDGsとは社会・経済・環境の三側面における、持続可能な開発目標のことだが、本町においても第2次総合振興計画に「あらゆる事業がSDGsと紐づくこと」と明記しているが、本町としての指針が見えずわかりづらい。

本町としての取り組み方など、住民の皆様へ情報発信し、普及啓発、参画推進すべきと

思うが。

町長 本町が実施している施策は既にSDGsに合致しているものが多数ある。

本年度は推進の意義や重要性を理解し、主に職員のSDGsに対する理解を深めるための研修を行う。

全体的な仕組みづくりは来年度から実施する予定で、「見える化」についてはロゴマークの採用など検討を進めたい。

問 第2次総合振興計画は去年から始まっている。

既に取り組んでいる施策も「地方創生SDGs」としての課題であることを表明しなければ、他人事に終わってしまう。

また、隠岐らしい独自の文書やSDGsアイコンを使用するなどの工夫をし、推進すべきと思うが。

町長 町としての施策と情報の伝え方

の問題であり反省している。「生まれてよかった・住んでよかった・訪れてよかった」という施策がSDGsの中できちんと伝えられるよう、本年は見える化も含めて研修を重ねて実施目標を決め、来年度に向けて、しっかりと取り組みたい。



おお え としなが 議員
大江 寿

Q 自治体発行クーポン、今後のあり方は。

A 今できることから重点的に取り組む。

問 コロナ禍で衰退した観光業喚起策で、県は宿泊代の補助や「しまねっこクーポン」といった1000円相当のクーポン券を発行している。

本町でも新たに「隠岐限定クーポン」という5000円相当のクーポンが発行され、好評な声を聞く。

しかしながら、配付する施設では随時の発券対応に追われている状況である。また、隠岐限定ク

クーポンを含め3種類のクーポンが出ており、併用の可否などにより、もてなしが制限されることもある。

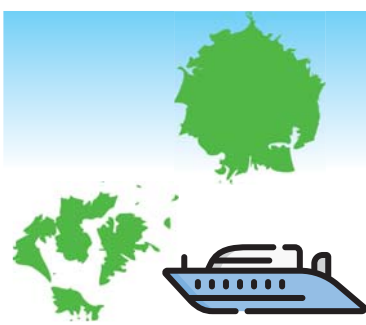
混乱を招かないよう、利用期間や形態の見直しを考えるべきであり、このままキャンペーンやクーポンなど延長が繰り返されると、「緊急経済対策」が緊急ではなくなるのでは。

そして今後キャンペーンがなくなり、従来の状態に戻った時、一時的に交流人口が激減

することが予想されるが、それらへの対応策は。

町長 自治体発行クーポンは、町内消費の喚起策として隠岐観光協会が取り組んでいる事業である。各町村の観光協会が施設にヒアリング調査を行った上で不正防止の強化なども含め、必要に応じ改善していくという報告を受けている。また関係事業者に改めて説明をし、協力体制が強化できるよう要望をした。

今できること、今だからできることから重点的に行い、対策を官民一体となり取り組んでいきたい。





むらかみ かねたけ 村上 謙武 議員

Q 離島漁業再生支援交付金事業の検証作業は。

A 現時点で改めて検証を行う考えはない。

問 新聞報道で明らかになった、前漁業集落代表への刑事訴訟内容に対する見解は。

町長 漁業集落から報告等を受けておらず、訴訟内容を含め、詳細について把握していない。

問 交付金事業で多額の使途不明金等が発生した場合に、第三者委員会を設けて調査を依頼し、原因究明にあたるのが普通の対応である。

終了した事業においても横領等の不正があった場合には、改めて検証作業をするべきと考えるが。

町長 平成27年度から29年度までの事業は終了したものと認識しており、現時点で改めて検証を行う考えはない。

Q 愛の橋架替事業の進捗状況は。

A 同規模での架け替え方針を提示中。

問 全面通行止めが続く中、港町の小学生や住民の方々が不便を強いられる状況が続いている。

町長 愛の橋架け替え事業の推進に取り組んできた町長の所信は。

町長 出前町長室や住民との会話で必要性を十分認識している。施政方針でも愛の橋架け替え事業を掲げており、早期着工に向けて取り組んでいる。

問 町の示す整備方針に対する住民との調整作業と事業費財源確保の進捗状況は。

担当課長 地元説明会では幅員5mの要望も出たが、予算面等のハードルが高いとの説明をし、現況幅員4mの町の方針に理解をお願いしている。

町長 財源確保は、通常の道路事業費と異なる財源で架け替えができるよう、県と協議中である。



着工が遅れている愛の橋



いしだ しげのぶ 石田 茂春 議員

Q 隠岐自然館の入館料無料化を。

A 子ども達の入館料無料化を考えていく。

問 隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核拠点施設が4月オープンとなった。

隠岐自然館は近代的な設備で展示されている。社会教育行政の方針として、「ユネスコ世界ジオパークに認定された固有の自然環境、風土が育んだ独自の文化などを適切に保護し、次世代に継承する。」また、「ジオパーク学習及びふるさと教育に積極的に活用する。」とされている。このような観点から

中学生以下の子ども達の入館料を無料にするべきと考えるが町長の考えは。そのためにも子ども達の実現を目指して取り組むものと考えています。

町長 ジオパークの活動理念は、隠岐の人々が誇りと愛情をもって語り伝え、ユネスコの目的に沿う持続可能な地域社会の発展のためにも子ども達の入館料無料化を考え、たくさんの子ども達が来場できるようにしていきたい。

もって語り伝え、ユネスコの目的に沿う持続可能な地域社会の発展





議員 則子 齋藤

Q 町営バスの運行経路と待合所の環境改善を。

A 地域公共交通会議で協議・検討してもらおう。

問 上那久地区は那久川に沿って約600メートルの谷あいの集落で停留所が一番川下にある。川上の交通弱者の為に停留所を川上にも設置してはどうか。

また都万待合所は西郷行きの乗り換え地点でもあり、町営バスの帰りの便まで約20分の待ち合わせ時間がある。

待合所にエアコンを設置するか、一畑バス町営バスとも都万支所

駐車場まで経路変更しはどうか。

町長 「隠岐の島町地域公共交通計画」

で誰もが安心して利用できる移動手段の提供に取り組んでいる。

上那久地区の件も含め地域公共交通会議で協議・検討してもらおう。待合所へのエアコン設置などの環境改善は、管理の関係で困難である。

Q 農業・化学薬品フリーの町を目指しては。

A 関係機関と連携し、検討する。

問 隠岐の豊かな自然は戦後たった数十年の間に激変。農業・化学薬品（防虫剤、除草剤、家庭用洗剤等）が大量に使用され、病院は混雑し、田んぼからはイナゴが姿を消し、スズメも減りミツバチは輸入に頼っている。

沿岸漁業の衰退も著



しく、海藻類や貝類も大幅に減少し、イナゴは2〜3年姿を見せない。

これらは海水温上昇も一因だが、農業・化学薬品も大きな要因だと考えている。

町長の所信にある「10年先、20年先を見越した3つのよかった」のために、他に先駆け、農業・化学薬品フリーの隠岐の島町を目指す考えは。

町長 国の農業半減の方針もあり、本町

も環境保全型農業や農薬・化学薬品の半減に取り組んでおり、県やJAしまね等の関係機関と連携し、検討する。



議員 芳樹 前田

Q FRP漁船廃船処理補助金制度の改正を。

A 現行制度で検証を進める。

問 廃船所有者が処分費を一旦全額

支払う点が制度を阻害しているのでは、町は半額上限20万円の補助金を処理業者に直接交付し、廃船所有者は自己負担部分を支払えば済むように制度の一部を改正してはどうか。移送費は対象外、100万円掛かっても補助金は20万円では廃船処理は進まないのでは。

町長 補助事業者に対する補助金の支払いについては「概算払い制度」も設けてお

か、運搬費などの検討はするが、現行制度をもう少し検証したい。

Q 介護福祉体制の将来は。

A 人材確保に努める。

問 事業所が営業を部分停止せざるを得ない程、介護の人材不足が進んでいる。介護の現場は生易しいものではなく、就業者の確保は難しい。

介護現場の就労環境を更に改善し、手厚く丁寧な介護福祉の町として全国に名を馳せるような取り組みをすべきでは。

町長 令和元年より本町独自に、就労

支援助成金事業や処遇改善補助金事業を創設し、人材確保に努めている。働き易い労働環境の醸成を特に重点項目と位置付けて取り組んで行く。

Q 特定地域づくり事業協同組合の設立準備状況は。

A 本年9月設立に向け準備を進めている。

問 特定地域づくり事業協同組合は、

国・県・自治体から財政支援を受けつつ、安定的な雇用環境の職場を創り出し、地域事業者の維持・拡大を推進できるといふ。

本町でも人材不足が進んでいる。特定地域づくり事業協同組合の設立は島外からの人材を得る一助になるが、設立準備の状況は。

町長 隠岐の島町商工会と連携協議を

しながら、本年9月の設立で準備作業を進めている。町内事業者に制度への理解を深めていただき、積極的に取り組んで行く。

予算・条例などをチェック!

総括質疑

質問した議員

大江 寿 議員

村上 謙武 議員

レストラン「うみさち」の改修工事について

大江議員 改修工事内容のポイントは。

商工観光課長 各機器の安定した機能確保、お客様のスムーズな利用、厨房器材の機能確保とするが、まずは最低限の改修である。

大江議員 指定管理者の公募開始が6月、選定が8月、営業開始準備が9月とあるが予定通り進めるのか。

商工観光課長 修繕改修と並行し、進めていくつもりである。

大江議員 3年間指定管理者が名乗り出でないが、今回急に実施することになった経緯は。また、指定管理者を公募する前に先行して改修する理由は。

商工観光課長 今年に入ってから複数の事業者から「うみさち」の

使用について問い合わせがあり、現場を案内するなどして、町の考え方を説明した。いずれも前向きに取り組むことが検討されており、町としても早期再開に向けて、準備を進めることにしたところである。

高校魅力化事業 島親との交流・体験について

村上議員 島親募集にあたって、町はどのような形で島親さがしを行うのか。

総務学校教育課長 広報等をはじめ、いろいろな形で町民への周知を図ると共に、魅力化を推進する「隠岐高校コンソーシアム（共同事業体）」のネットワークも駆使し、候補者を募集することを考えている。

村上議員 島親が果た

すべき役割、条件等は。

総務学校教育課長 長期の休みの時や、週末に留学生を受け入れてくださる方で、部屋と食事を提供してくださる方を募集したいと考えている。

村上議員 町は留学生の交流や、体験のきっかけ作りを担うとして、島親との交流・体験メニューを考えているか。

総務学校教育課長 春は、隠岐いぐり凧祭りや隠岐しげさパレードへの参加、隠岐の島ウルトラマラソンのスタートなど考えており、古典相撲があれば取材に伺い、相撲に出場することもあり得るのではないかと。季節ごとのイベントに企画し、魚釣りや素潜りなどにもチャレンジできればと考えている。

新人議員研修会の報告

去る6月11日、隠岐の島町役場会議室で、島根県町村議会議長会事務局長清山英晴氏を講師に迎え、『議会制度および運営について』講義いただきました。

5名の新人議員が参加し、地方議会の役割や、議員として理解しておくべき基本事項について、質疑応答も交えながら学ぶことができました。



講師の清山氏（右から2人目）と5名の新人議員

関係人口増加に向けて、積極的なPRを!

審査の状況・結果

◆高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業

財源は内閣府の地方創生支援事業補助金で、隠岐高校を事業実施の受け皿として「地域みらい留学365」として単年度の留学を受け入れ、関係人口を増やすなど新たな魅力化事業に取り組みます。まずは、「留学生徒募集」にかかる経費が対象である。教育委員会、高校だけでなく各課、地域住民も交え協議会を設け、「島親」として関わってもらい、つながり続ける関係人口の創出を目指します。11月末の留学生受け入れ決定を受けて追加交付を約500万円申請予定している。



委員からは「PRの仕方が緩いのでは、もっと積極的にPRすべきでは。」「追加交付予定している。この事業は高校魅力化だけでなく、定住対策、人口減少対策にもつながる事業でもあるので教育委員会だけでなく他の課も交えて協力して積極的なPRで事業展開するように指摘をした。」

交付予定の500万円の用途は。「という意見や質問があり担当課からは寮の老朽化や生活スタイルなどを改善し、魅力化PRにつなげたいとの答弁があった。」



所管の調査事項

◆大城墓地環境整備協議会の設立について

西郷小学校を中心とした大城周辺の居住者が古くから利用してきた大城墓地が、近年荒廃が進みつつあることから、環境整備と次世代への継承を目的として周辺の宗教法人と本町で協議会を設立した。今後は墓地の荒廃状況調査や空き墓地の整理・再利用の方法や、その他環境整備の検討を行う。

約1500近くの区画にかなりの町有地があるが、放置された区画を町で管理するのは難しく、官民一体となつて調査・検討していくものである。報告の後に委員会では現地視察をした。荒廃した墓地や、中には江戸時代からの墓石もあり官民一体で調査をしてもかなり時間のかかる様子だった。町の環境としても重要なことなので、委員会としても調査研究を続けていく。



大城墓地

◆新型コロナウイルスワクチン接種について

迎はあるか。「などの質問があり、担当課からは「いちばんの課題は接種スタッフの確保と集中にあることを病院などと協議し意思を統一した。接種会場を2箇所以上設けると接種が11月近くまでかかってしまう。また、会場まで来るのが困難な方には臨機応変に対応をしたい。」との答弁があった。

また、関連してワクチン接種後の高齢者入所施設などへの面会について質問があったが、「コロナ対策も長期にわたつてきていることから意見交換など改めて感染防止策について関係機関とも連携をとっていきたい。」との答弁だった。

委員からは、「危機管理、水際対策」という観点から、引き続き積極的に対応するよう指摘した。

当委員会に付託された一般会計補正予算、条例の一部改正等の議案は審議の結果、全て「可決すべし」とした。主なものを報告します。

公共施設の個別施設計画策定と適正な管理・運営を！

審議の状況・結果

◆一般会計補正予算

レストラウみさち 改修事業

3年間休止中の「レストラウみさち」を、指定管理により早期に営業再開するため、改修工事費として660万円の補正予算が計上された案件に対し、多角的な視点から当該施設の改修工事に対する慎重な審議を行った。

当初は老朽化が目立つ建物の改修費増加に対する懸念や、指定管理者が決定する前に改修工事を進めることの正当性の有無、さらに施設の管理と運営に対する町の方針の不透明感などを理由に、否定的な意見が多く出た。一方、都万地区の振興と住民のニーズに応えるために早期の営業に向け改修工事は必要との意見や、飲食施設

の整備と併せて、あいランドパークの運動施設や公園のトイレ等も整備すべきとの肯定的な意見も出た。

委員会採決は賛成多数で「可決すべし」としたが、改修工事の進捗状況や指定管理者の選定等に対して、適正なチェックを行い、引き続き注視していく。

所管の調査事項

◆西郷港ターミナルエリア整備事業

広く住民が参加し西郷港ターミナルエリアのまちづくりを考える意見交換会の開催状況や参加者からの意見、整備事業の内容等について担当課に説明を求めた。

委員からは、隠岐ポートプラザなど既存の施設をどの様に活用していくのか、都市再生整備計画に対する町の考えや、間近に迫ったデザインコンペのあり方、整備事業費の財源等に対して多くの質問が出た。それらの質問に対し担当課より説明があり、ターミナルエリアデザイン策定作業の進捗状況と課題等について確認した。



等の影響もあり、話し合いが遅れている状況である。

◆水道料金超過徴収問題

集合住宅水道料金の誤徴収について、担当課より問題発覚の経緯と誤徴収の調査結果、及び今後の対応等について説明を受けた。

長期間にわたり過大に水道料金を支払ってきた住民に対する誠意ある対応と還付金の支払い等に対して、きめ細かな事後処理対応が求められるが、法令遵守の観点から、日頃の事務全般に対して再点検を行う必要性が問われている問題でもある。

◆愛の橋架替事業

地元住民との協議の進捗状況等について、改めて補足説明を求めた。町の基本方針について住民への十分な説明がまだ済んでおらず、愛の橋架替事業に対する理解が得られなかったという段階に至っていないとの説明であった。

工事着工への道筋を付ける時期にきており、住民との調整作業が急務であるが、新型コロナウイルス感染症



議会基本条例策定特別委員会を設置しました！

「議会基本条例」とは、議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定めている条例です。

- ・ 議会、議員の活動原則
- ・ 町民と議会との関係
- ・ 町長等の執行機関と議会との関係
- ・ 議会運営の原則
- ・ 議会の権能強化などの規定内容について特別委員会で検討します。

議会基本条例策定特別委員会

委員長	安部 大助
副委員長	菊地 政文
委員	牧野 牧子
	大江 寿
	村上 謙武
	高宮 陽一

◆議会基本条例を制定する目的

地方分権の推進に伴い議会の役割と権限が強化されました。その一方で、町民からは議会や議員の活動に対して厳しい目が向けられています。

このような状況下で、議会は自ら、議会の活性化と議会改革に向けた取組みを積極的に行うことが求められています。

本町議会では、議会の使命と議会の役割を果たすべく議会運営のルールを定めた議会基本条例を制定すること



町議会の権能強化を図ると共に、町民の福祉増進と町政発展につながる機能的で実効性のある条例の策定を目指し、全委員が知恵を出し合いながら策定作業を進めて参ります。

◆条例制定に向けての策定作業

とし、条例を遵守し実践することにより、町民から信頼される議会を築くことを目的としています。

◆全国自治体の状況

令和3年4月1日現在全国1788自治体のうち、898（50%）の自治体がすでに、議会基本条例を制定しています。

竹島対策特別委員会

委員長	田中 一隆
副委員長	岡田 智子
委員	池田 賢治
	前田 芳樹
	石田 茂春
	米澤 壽重

◆日韓関係を複雑にしている竹島問題

1952年1月18日、韓国政府は「李承晩ライン」を設定し、その中に竹島を含めた。それ以降、竹島への不法な武力占拠が続いている。

日本政府は韓国政府に対して、竹島問題を国際司法裁判所に付託するよう提案したが、韓国政府は「独島は日本の韓国侵略の最初の犠牲の地だ」などの理由で拒否した。

今では韓国民にとって竹島は、韓国の「聖地」「民族の島」「自尊心」の象徴となっている。



韓国による不法占拠が続く竹島

◆竹島問題解決のため

に議会の果たすべき役割

- ・ 竹島領有権についての学習と調査研究。
- ・ 「竹島の日」関連事業への参加と町民への啓発活動の推進。
- ・ インターネット等による積極的な情報発信。
- ・ 県との連携を図りながら国への働きかけの強化。

これらの取組を、目に見える形で粘り強く実践していくことが、竹島問題解決に向けての本町議会の果たすべき役割です。

皆 様 か ら の 請 願

件 名	提 出 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果	理 由
請 願	地方財政の充実・強化に関する意見書を政府等に提出する事を求める請願	隠岐の島町職員組合 執行委員長 松岡 隆介 紹介議員 高宮 陽一	総務教育民生 常任委員会	採 択 地方創生と福祉の増進を推進するために必要

採決の状況

賛成多数で可決した議案

件名	岡田	牧野	藤野	齋藤	田中	大江	村上	菊地	西尾	池田賢	安部	前田	石田	高宮	米澤
令和3年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般会計補正予算のうち、レストランうみさち改修事業に反対・・・藤野

全会一致で可決・承認・同意した議案

令和2年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分	令和3年度国保施設勘定(都万診療所)特別会計補正予算(第1号)
令和2年度国民健康保険事業勘定 特別会計補正予算(第5号)の専決処分	令和3年度布施へき地診療施設事業特別会計補正予算(第1号)
令和2年度国民健康保険施設勘定(中村診療所) 特別会計補正予算(第4号)の専決処分	令和3年度五箇へき地診療施設事業特別会計補正予算(第1号)
令和2年度国民健康保険施設勘定(五箇診療所) 特別会計補正予算(第4号)の専決処分	公営バス設置及び管理条例の一部を改正する条例
令和2年度国民健康保険施設勘定(都万診療所) 特別会計補正予算(第4号)の専決処分	工事請負契約の締結〔旧町民体育館解体工事〕
令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分	工事請負契約の締結 〔隠岐ポートプラザ衛生設備改修工事(1期工事)〕
令和2年度駐車場事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分	物品購入契約の締結〔小型ノンステップバス購入〕
令和2年度布施へき地診療施設事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分	物品購入契約の締結 〔島後清掃センター塵芥収集車購入〕
令和2年度五箇へき地診療施設事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分	物品購入契約の締結 〔五箇地区穀類乾燥調製施設粉砕機購入〕
令和2年度隠岐の島町後期高齢者医療保険事業 特別会計補正予算(第2号)の専決処分	工事請負契約の締結〔林道横尾北山線災害復旧工事〕
税条例等の条例の一部を改正する条例の専決処分	工事請負契約の締結〔油井漁港水域施設浚渫工事〕
令和3年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	【同意】中財産区管理委員会委員の選任
令和3年度国保施設勘定(中村診療所)特別会計補正予算(第1号)	【発委】地方財政の充実・強化に関する意見書
令和3年度国保施設勘定(五箇診療所)特別会計補正予算(第1号)	

第2回 臨時会(令和3年5月12日)

令和3年度一般会計補正予算(第1号)	工事請負契約の締結〔八田集合住宅改修工事(機械設備工事)〕
工事請負契約の締結〔八田集合住宅改修工事(建築主体工事)〕	【同意】隠岐の島町監査委員の選任

編集後記

本年4月に町議会議員選挙が行われ、新人5人(女性3人)を含む16人で新体制がスタートしました。

初定例会となった6月議会では重要な議案が提案され、住民の皆さまにも関心を持って頂きたい内容も多くありました。しかし、傍聴に来て頂いたのは延べ16人と少なく、改めて議会と住民の皆さまとの間に隔たりがあるように感じました。

広報広聴常任委員会も新体制となり、皆さまにより関心を持って頂けるよう、そして必要とされる議会を目指し活動していききたいと思います。

文責

委員長 牧野牧子

議会事務局

TEL(2)ー8568
FAX(2)ー3396